

令和4年度 教化研修委員会 活動報告

教化研修委員会
委員長 小澤 慧月
副委員長 箸尾 良仁

【活動目的】

教化研修委員会は東大寺千僧法要を主たる事業とし、法要の準備並びに円滑な進行を取り仕切る。
その他にも理事会開催会場に合わせた研修会や法要、各宗派の修行体験など会員相互の和を重んじながら自己研鑽できる研修なども開催する。

【会議開催記録】

1. 委員会開催報告

- ・第1回委員会 令和4年7月5日（火） 於：大阪市 大念仏寺
- ・第2回委員会 令和4年12月1日（木） 於：奈良市 ガスト奈良大安寺店
- ・第3回委員会 令和5年1月11日（水） 於：京都市 青蓮院
- ・第4回委員会 令和5年3月29日（水） 於：福山市 高野山福山別院
- ・第5回委員会 令和5年5月31日（水） 於：東京都 明照会館

2. その他

- ・東大寺さまへご挨拶および打ち合わせ 令和4年12月1日（木） 於：東大寺

【活動報告】

1. 仏法興隆花まつり千僧法要の企画

- ・先ず会場となる東大寺様、共催頂く南都二六会様には絶大なるご理解と寛大なる対応、ご協力を頂き篤く御礼申し上げますと共に、加盟団体各位のご助力に感謝申し上げます。
- ・本年度の千僧法要は西郊理事長導師の下、来賓各位・東大寺式衆・南都二六会式衆・全日仏青式衆の約150名が出仕し、世界の平和と安寧、万国天災人災物故者慰霊、被災地復興等を祈念し、後のアショカピラー法要では倉本堯慧南都二六会会長お導師の下法要が執り行われました。
- ・法要に先立ち、金鐘ホールに於て鷲尾隆元東大寺教学執事お導師のもと、コロナ鎮静・罹患物故者菩提を祈る「正午の祈り」をお勤頂きました。
この「正午の祈り」は、感染拡大が広まった2020年4月に東大寺様が全国の社寺に向けて「共に祈ろう」という呼びかけで行われ、金剛峯寺・金峯山寺などの寺院のみならずカトリックの教会や神社などにも賛同の輪が広がって毎日欠かさずに行われ、この5月31日に一応の結願となりました。
- ・三年にわたってコロナ禍の影響により中止や縮小開催を余儀なくされましたが、本年はなるべく従来の法要形式に戻せるところは戻すべく当初より企画運営を行ってきました。
結果、道中や法要での鳴り物や全員での散華、東大寺幼稚園園児による歌の奉納などを復活、一方で花の種の配布中止や法要時間の短縮による人流などへの影響軽減など、アフターコロナの法

要形式として一つの方向性を示した開催が出来たと考えます。

- ・一方で参加人数の制限撤廃や一般参拝の復活には至らず、次年度以降への持ち越しとなりました。特に、一般参拝の復活は全日仏青の活動を広く周知し直接参加頂ける貴重な機会であり、会計上も収益を得られる貴重な事業として、次期委員会に於いて復活を目標に活動頂きたいと思っております。
- ・当日は生憎の雨天となりましたが、傘へのビニールテープでの名前の記入や団体ごとに纏ての移動など事務局各位の対応や参加者皆様のご協力により大きな混乱なく終えることが出来ました。ただ、参加者の人数次第では対応する人員の不足などが懸念される事から、加盟団体様のご意見ご協力を頂きながら更にブラッシュアップ出来ればと思っております。
- ・本年は交流懇親会も再開され、多数のご出席を頂きました。中で、二六会様より東大寺様と当会を交えた交流会を行いたいとの申し出を頂き来期より委員会を中心として行っていく予定です。
- ・今後も時代の流れ、時々々の情勢に即した仏法興隆花まつり千僧法要の祈りが続いて行くよう、今回の経験が生かせるように引継ぎを行って参ります。

2. 研修会

- ・当委員会のもう一つの活動方針である研修会についてはコロナ禍の影響もあり開催する事が叶いませんでした。ご寺院等をお借りしての理事会開催時などにはその機会を生かした研修を行っていただけるよう次期委員会に申し送りさせていただきます。

3. 引継ぎ事項

- ・令和元年に一般参拝記念品として作成した「朱印帳」を今年も活用することが出来ませんでした。一般参拝再開の折にはご活用いただきたい。

※「タイムカプセル」について

- ・第一回仏法興隆東大寺千僧法要・花まつり千僧法要（1988年開催）においてアショカピラー宝塔下にタイムカプセルを埋設。
- ・50年後に当たる2038年（仏教伝来1500年の年）に開封する事になっている。
- ・カプセルの中にはハガキ数千枚が納まっており、2038年の千僧法要開催前に開封、個別発送を行う事になっている。
- ・掘り出しやハガキの料金改定など予算が発生する。